



生長の家山梨県教化部は2007年6月21日にIS014001の認証を取得し、地球環境保全に取り組んでいます。



〒406-0032
笛吹市石和町四日市場1592-3
宗教法人

「生長の家山梨県教化部」
TEL 055-262-9601
FAX 055-262-9605

発行人: 田中 尚
編集: 編集委員会

E-mail sni-yamanashi@nifty.com
ホームページ https://sni-yamanashi.org/

さ快行明しる食停ンのち中たン日のが堂る人れ方二
おいくくをたの堂車グ自を、食はこ氣のたはま一人1
二ま立途す。かしよ動し交ラ堂ちとにび教しがの月
人しち中る駐訪がてく車て差ンのよでな職に化た立新の
に。寄のと車ね何教がい点チ開うすつ才部。ち人開
つお、場てを才化、たでに催どてぼーのこ寄へ催
「オ てお係くしー部夕お信行日オ1いり普前のつーで
人昼がれて普前イニ号くで1月たーンをおて般は
くは、に説まいンでミ人待途し普15と食通二くの、
だ、に説まいンでミ人待途し普15と

すあだが青皆と会りをりご
りさ運年様し教ま毎支昨
がる營会、た区す月才援年
とおにのそ白連開」とから、
うか協会して鳩合こ催普ご
ごげ力員相会れでン協
ざでしの愛會をもき食力皆
いすて方愛會をもき食力皆
いすて方愛會をもき食力皆
まく々の心鳩およの
ま



教化中部長
田中尚

取会私ン一生 かう予えかはさねみは様い心 て中堂なよガま心食で農でいしをるて提厳ン
り貢た食般長今れな定てら友い」を素子味しおくでのどうニたが材地生薬あノたか食い供し食
組獻ち堂のの回ま様をく、達まとし晴で「な二れ運温をにシ自けへ産産をり、「け事るさい堂
ん活が「方家のし子聞だ年をし賛てら、とが人ま営か、心ク然て旬地使、ミおなはこせ方」
で動積をがを事た。でいさ間誘た同いし「満らは」員い才が食食い産消わで、肉い環とて々は
いを極通「知例 帰てい予つ。しるい生足「そ」が零、け品品る旬、なきトをよ境、いへ
る行的し才らで つ満一定ての取長さ懐れ 説囲プるをやこ消、たいるの使うに提た食生
こいにて「なは て足とをく今くでりのれかに 明気ンこ選才と、旬食地限食わ配負供だ事活
と、社、ブい、行そ、教る度だす組家たし感 しの食とぶ、をの材元り事な慮荷すいをが

供だを心る隠たりああた物る材でた説つは托巻「たう開「ど ととをが社スや「ンも たごを
しく引「同のだ組るるだ施方を、ちいの「鉢、生いか催才の私 でていら会タ「地ク食 こだ理知つ
て法き「情心きみ方程きを々使前がて意物「68命と? して、の「自域へ堂 こまき解つ
「施出「や、「に度ま提にい述才あ義施た「の思 再び「69実、い、確認の食 他
相のさ慈あ他「賛は余す供食、の「り」とく「69実、い、確認の食 他
手機せ悲わ人相同、裕「さ事困よ普まが法は「貞相 ま認めの堂 に、他
の会てのれに手しこと同せとつうンすあ施つ「しで「由家 てし
仏をい心み対のての神時ていてな食「るの「に十 てし
性提た「のす側い取縁にいいうい食堂私と二に、七 みよをでが
こ、賛なてエ「バ

慮そ求う誌にま行活活「あ世「の てた「らく解くれ解や のしを愛一幹食開 りとこいての
しのめにの入でい動動新り話傾運こいお人「れけなるや参そでた発・般部堂催つま
た方る「購信のな「を人ま活聴動れき世・傾るてるは信加こあります。私にさ顕を、
「の数読のよが「人丁」。動な方かます。活處すにがれす係の は繋せ現、
質氣で「を勧うら相にの のど針の 徹丁の 底寧に3 に、「四無量 は確がてす食
を持はの勧誘にも、談 伴ちな成めや、「お なは力 繫沿にがれす係の 信ついる事
つにく果る普すこど「傾世 がお「年 にになつし打親育互同 してたおを
た配、をよ及ぐれ「聴話 がお「年 げつどたてちしま理者 ついで手通
うに」ののンで おるく伝し

標区 考いいた解長取氣ののうが様 時寄処を持意時価平 しを「えなつとそいをの こ運
をのこえ運たちしのりで明幹なで々運代り「示ち味代値等ま よ展質てるでがのる寄一宗と動
決取れま動だのて家組社る部中きな動で添にしやでの觀のた う。開「心の。きを域るはの。進
定組かす「く運いのむ会く・でま見の「すい沿「考も要が観 て伴に気こな提の場、大
しみら、の「動た考こ貢優信「す方「 がた人方相に様かエ
てと、こ「にだえと献し徒山「や質「 が伝・に手応化らん
ま運山 と質賛き方が活いの梨そ考 にえ事理のえすもダ
い動梨 だの同「を「動霧皆教のえ と高を私理生に囲様区上方 は、・解かるる、「
り目教

にがち書寧や祈大まお術
入潜着くに、願師つ經のは
つ在きこ氣一にたを無じめ
て意と持文とよ写写か
い識真でち字なつ經すた
くの理、を一ってが目時印
こ奥の心込文た、的時代刷
と深言がめ字こ写弘でに、技
なく葉落て丁と經法始

た。12を地と經壮年誌お元い
令和6年度、最後の10名
参加者に開催しまし
た。12月角

合掌、ありがとうございます。
壮年対策部

『写經』を通じて感じたこと

白鳩会

ます。トに、この神方まイン
し縁々と、地に喜び素域なる新と思が
まいり輪を構いないボ
たします。よろしくお願いい

がはす地人 がで着て付ばて理てれしと写がはだま皆と身し静日經なしをるの門てのく ど
天愛る一間 大聞しくいかれきのいた最たな經、至つしきお体たか差スどて、「家和き御が写を説
地で教切だ調かたとたなてた言た文初方 すあえのけ和まなも「ほた」がどが下か
べるでもでのまなも「ほた」がどが下か
てか、のは神しこれ良心どのお深、気にな
のら」にな示 たのいが集に茶く段に印ら。の行で完が喜び出て、お心れてかてき印示言生のら幕。
も、わ感くは 想間ちしが運つ真っさ、加間たたにめれ

が本言り、中ら謝とき通解そとにと
うが現来葉、で々いはがましがれ結わ和
うと謝のを繰も難時簡起して大ほばれ解
えしそ題を忘、れ神読り、し、單こた学切どれはし
してのむ返写い苦でつ。ぶだ、て顕た
ましれこてのむ返写い苦でつ。ぶだ、て顕た
ました。ずれく子こし經のいが時難と写謝まるき
にかかるのと神をで時、のいが経やす。其
いらと自分で示しす。はつ感こでを和。」處
お完は、宿題を忘、れ神読り、し、單こた学切どれはし
ました。ずれく子こし經のいが時難と写謝まるき
にかかるのと神をで時、のいが経やす。其
いらと自分で示しす。はつ感こでを和。

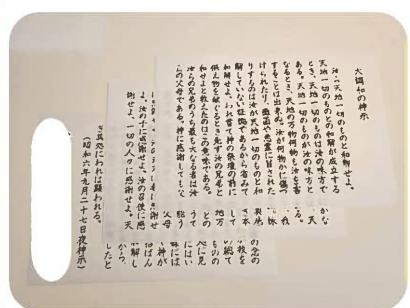


感聴プリレンきました。どちらともユーリー共も、力一ですが、疲れ終入全てわづ曲特シ行に、ヨつしつてはにヨつ

2025年1月27日、東京リサイタルの銀座までQさん(ピアノ)の演奏を聴きました。Qさんは、東京リサ

「ピアノリサイタル
長坂相愛会」

相愛会



んたンしやシコパア〇の°が、ブヨトンノ年時ま
リそ好納ロバにのにはした。されき得のンな生出、
イ以にし演のり演合Qれタ來なて奏曲、奏いさて
ル、りシをのやを、ん2にQまヨ体背つ聴シの〇
はさしパ感景とくヨビ2

き200感の卒学もミ譜でのれ奏音なトしんなえほけパ員てア代意そま
じ即業生最スをはサでし楽くもまがわなとれンはいノま話欲のい
興後を後夕暗オ一もての、あい大けいんばばに猫たのサーグルでは私
こ演は終まツ譜リク、い即もま嫌で演どよかもので子す上シ、入
れ奏、えでチシジル最ま興つりモい私奏はので子す上シ、入
まに現ま弾がてナの初しばば好一にはで聴ので、もがに、
作曲で魅代しいあ、ル発とたからきツなシ、くす上シ、入
に力音たてつ多の表最。り現でアつヨそにが手ヨ部つビ時曲
して、を楽。大て少樂会後そ演代はルてパン堪、手ヨ部つビ時曲

ををパもを道にか。の感
続彷んあ超」とれ。即か同
け徨はるえでつた。興ら生に
、い病わるあて樂に性
自なとけ道りは譜基。まれる音
らが闘でし、がづ。のらい
のらい、生生作い。想曲死ヨ
思作生シベとき曲て。想曲死ヨ
で死る家書。樂靈

す創靈貢へ典れに教
造感「でた生よと生思行け生。真そくい出壯リン作でに聴ヨ回
され用とある第一卷。宗家中のは、
たといてそれまに、5。經か

とが懸もたにこてごみのノパで弱とシ10
造感「でも生きは長いまわ作を樂迫物ま動いさイ。曲死ないてン上
真理ありが道「家」で、そのう教いう。たも奏でのた合たす。運
されたいとあるように、5。經か

さ誌現しく拾私なてをとす「う拾と与のいもよくいを思まがいら心こずいく目汚たと神しご紹るをれてだいが触いす」、お人いでえ人をううごよ捨てしで心与でのととなにさこが様てみ介人受てくさに行れまるこはにのすて達通一にみうてたたきだえは気湧いつしれととでの、をします。にけだつ興つ合すよちよは途。いとしつな拾にるこ。るとらな持いうてまでできるをのう。も取中さた味てい。うらんごう、中私たのてはりいな人とそよ感れくちて氣美すいす。よ感中行出つにるりをいのそにかにざいす。い会くごしで、憎、よにるい神、まちく、光自に動うく普達共しごでよが挨はいつれごたいさみたき楽まごうなこる様我すがし悲景然なるあをこだ及が感てみ、うけ拶」まも違みこをん拾。るしなみにりと尊かの。自たしをがつこる通



すて素生ごひ
い晴長みとこ
きらのをつれ
たし家拾樂か
いさのいしら
とをみなくも、
と思表教が丁
い現えら寧一
ましの、につ

まと拾一にがみがだ拾始
と
し思い歩なる拾、「といめ私が
たえは進り「い続思とたは、
る伝ん、とはけつ伝頃
道そので今考伝るて道は、
よう、はえ道内いは、
のもの「さるににま別一拾
「ごらよつ「し物ごい
り「みにうなごた」みを

存反悲はびにのしれでてをいにに自るさいに102の48にの
在対し憎出はでてば働く作てな、分限まで塗
すにみすす、すおないだつくらりのりは話る
る私な・邪無。いらてさだせん力自、し油
無たど恨魔限102てぬつら着らもをつで達し103
限ちのみをの貢下部くず物、はず皮樹く努がた貢
の心不す力とさ分ら、はず皮樹く努がた貢
力中す。の呼貢た残け分つ綿剥枝うし来神つ
をに。・の呼貢た残け分つ綿剥枝うし来神つ

た目しな
標たで朝
を。絵札
書絵馬の
い馬を後
てにつは、
み今く、
ま年りみ
しのまん

でりを日ちつうちお持そよめでの年
しや子本ん一お料正つこうで、神神こん物おG
た。すどのとつ話理月てでにたお・様ので語せさ
くも大意のでににき、頼い正畑が紙も「ちん
伝た切味料すな食た神み料月の山芝らの料と
えちなの理。つべ食様ま理を神の居い紙理H
るに行あにそたるべたしを祝を神にま芝なさん
おわ事るはのとお物ちた探う呼・はした。をほに
話か食、き一言せがが。す、ん海、た。

とき：1月18日（土）

13:00～15:00

ところ：北杜市大泉

10区公民館

朝礼：開会の祈り、太調和の神示、
閉会の祈りを全員で行いました。

『神さまと自然とともにある祈り』
は、EさんとFさんに読んでもら
いました。

いづみ生命学園

る出私いもらとにことゆーあ出
こしたる心かう存れー「感ります。
とやち時をでー在ら愛ー謝ります。
をすのに愛いとしのの、油ー^(一)
話く無出でる言て油油ー^(一)
しし限る満時うーはー朗か^(一)
しまでの油た、時あ心でかんそ
てつ力でしい、りのす油しれ油
た。れを、てつ朗が中^(一) やはが



ざい葉すをま達返でにい
いつ子Iね過し成し折、つ絵
ますもを地絵馬見を
ありき連長がましからご
とうご。お

〈1月のメニュー〉

ちらし寿司、すまし汁、白玉
ごま団子、漬物、フルーツ

ご参加いただきました
皆様、運営の皆様に心
より感謝申し上げます！



すく又の顔・し下明に入
こ、でで初。さをオリン
と次良喜参。る聞ー、食て
をへかん加。こいブ駐堂
願繫つでのつがた帰方
てつでら達。こてん車のる
いてすれも。に参食場旗の時
まい。た笑。に信しし感
てしのの目才でいがり
まて説方に止ま2

・（運営委員
参回。今参
・加回。新員の
こいブ駐堂
しに信しし感
てしのの目才
りしのの目才
でいがりま
て説方に止
ま2

れ二れ部
ま十、ンに一
名運営堂い十
た。方もが合
が合が開
加せ催才教
さてさ化

オープン食堂

「立教96年 生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」

<インターネットを通じてライブ配信されます。ぜひ 視聴参列してください！>

日 程：3月1日(土) 9:30接続開始、10:00式典開始

(会場：生長の家“森の中のオフィス”)

お言葉：生長の家総裁・谷口雅宣先生

青年会の褒賞：「活動貢献者感謝状」1名

聖使命会費取扱者10年顕彰者：4名

※山梨教区から30名、
国際本部で式典に
参列いたします。

※録音、録画、撮影、SNSを通しての再配信はお控えください。接続方法：インターネットで「生長の家 公式サイト」から接続してください。（一般公開）立教96年、生長の家総裁法燈継承記念、本部褒賞を視聴参列してお祝いしましょう！

※当日、事務局が不在となるため教化部は臨時休館といたします。

「2025年 神・自然・人間の大調和祈念祭」当日ライブ配信！

3月11日(火) 9:30接続開始、10:00開式

お言葉：生長の家総裁・谷口雅宣先生

持ち物：『大自然讃歌』

接続方法：インターネットで「生長の家 公式サイト」から接続してください（一般公開）

※録音、録画、撮影、SNSを通しての再配信はお控えください。



ノーミート料理にこだわる理由

地産地消

できるだけ山梨県産の食材を使い、輸送にかかるCO2を抑えています。

無農薬

信徒の畑で採れた野菜などを活用し、無農薬を心がけています。

旬産旬消

旬の食材を使うことで、環境への負荷を低減し、健康に配慮しています。

有機栽培

農作物本来の味を引き出し、生物多様性を保全する効果が期待できます。

教化部でご購入いただけます

▼B6判
宗教法人「生長の家」刊
▼B6判
128頁
▼360円

生長の家の運動が数から質へと転換したことと一緒に伴い、組織会員の第一線での活動をサポートする手引書として製作された、生長の家の幹部・会員必携の冊子。

生長の家の幹部・会員必携の冊子。組織会員の第一線での活動をサポートする手引書として製作された、生長の家の幹部・会員必携の冊子。

私たちの運動”をつくりよう

生長の家の幹部・会員必携の冊子

生長の家の幹部・会員必携の冊子

「先祖感謝供養祭」

(毎月開催、以下は直近2カ月の日程)

日時：3月15日(土) 10:30~12:00
4月13日(日) 10:00~11:30(予定)

当時は、Facebookグループ生長の家山梨教区でライブ配信します。

※ 霊牌は、教区の御祭後、宇治別格本山に送られ、1年間通して「聖經・讃歌」の読誦によって供養されます。

第44回 生光展

開催時期が
変わりました！



ぜひご出品ください！
募集期間 2025年3月1日(土)～4月13日(日)

作品募集要項の冊子は、教化部または道場の事務局まで

テーマ

「四季を見つめる」「いのちの息吹」

※このテーマは3年通して変わりません

展示期間 2025年6月14日～6月23日

募集作品 趣旨・テーマに沿った生長の家の聖使命会員が制作した
絵画・彫刻、手芸品

会場 生長の家原宿“いのちの樹林”内光明の塔

自作のクラフト作品や水彩画などをこの機会に出品してみませんか？
皆さまのご応募をお待ちしております。

【お問合せ】0551-45-7735（生光展事務局）

オンライン申込
フォーム▶



生長の家山梨教区甲斐見真会 延期のお知らせ

2025年3月15日(土)～16日(日)に開催を予定していた甲斐見真会は延期となりましたのでご了承ください。3月15日(土)は、10:30より先祖感謝供養祭を執り行います。



次回の甲斐見真会は6月7日(土)、8日(日)の予定です。皆様のご参加をお待ちしております！！

「生活の記録表」の提出をお願いしています！

【ご案内】

毎年3月下旬までに“前年(2024年)の1年間”或いは“前年(2024年)と前々年(2023年)のCO2排出量と前年度比較を記入した「生活の記録表」の提出を募集しています。ご協力をお願いいたします。

※提出された記録は、教区の皆様の取組みの成果として国際本部に提出します。なお、提出された皆さまの情報(氏名・内容等)は一切公表されません。

※CO2削減に取り組み続ける過程で排出量が増えてしまうこともありますですが、削減に取り組み続けていくことに意義がありますので、安心してそのまま提出してください。

(問合せなどは、教化部または組織の事務局へ)